

奥村喜和男 おくむら きわお 官僚、實業家。明治二十二年一月四日福岡縣生れ、昭和四十四年八月十九日没（一九〇一—一九九一）。大正十四年東京帝國大學法學部卒。逓信省等を經て企業院に入り、國家總動員法の起草に當る。昭和十六年内閣情報司次長。戦後八公職追放解除後、光通商社長、東洋自動車會長等々を就任。日本實業會會長を務めた。

著書に『逓信論叢』（昭和十年）二月十五日交通研究社）、『國民を叫ぶ』（昭和十七年）五月五日日本雄辯會講談社）、『亞細亞の黎明に立ちて』（昭和十七年）一月五日日本雄辯會講談社）、『大詔を拜し奉りて』（東條英機合著、昭和十七年）二月）二十五日日本放送協會）、『會堂攘夷の血戰』（昭和十八年）二月）日社文社）等。

